

秋田県文化財調査報告書第497集

遺跡詳細分布調査報告書

2015・3

秋田県教育委員会

シンボルマークは、北秋田市白坂（しろざか）遺跡出土の「岩鏡」です。
縄文時代晩期初頭、1992年8月発見、高さ7cm、凝灰岩。

遺跡詳細分布調査報告書

2015・3

秋田県教育委員会

序

本県には、これまでに発見された約5,000か所の遺跡をはじめとして、先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文化財は、地域の歴史や伝統を理解し、未来を展望した彩り豊かな文化を創造していくうえで、欠くことのできないものであります。

一方、県内道路網や河川の整備など、豊かで快適な生活を築くための地域開発が大規模に行われ、埋蔵文化財保護との調和を図ることが急務となっております。遺跡分布調査と遺跡確認調査はそのための基礎資料となるものです。

本報告書は、平成26年度に国庫補助事業として実施した、国道建設事業、河川改修事業、主要地方道建設事業などに係る遺跡分布調査と遺跡確認調査の結果をまとめたものです。

報告書をまとめるにあたり、調査に協力いただきました関係各機関に感謝申し上げるとともに、今後とも埋蔵文化財の保護につきまして御理解と御協力をいただけますようお願い申し上げます。

平成27年3月

秋田県教育委員会

教育長 米 田 進

例 言

- 1 本報告書は、平成26年度に秋田県教育委員会が国庫補助金を得て実施した、遺跡分布調査と遺跡確認調査の報告書である。なお、本書収録の報告は平成26年4月から12月までの実施分であり、平成27年1月以降の実施分については来年度に報告する予定である。また、平成26年1月から3月に実施した遺跡分布調査の結果報告を平成25年度補足分として掲載した。
- 2 本報告書に収録の遺跡分布調査、遺跡確認調査は、秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室、秋田県埋蔵文化財センターの職員が担当した。報告は、遺跡分布調査については秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室が、遺跡確認調査については各調査担当者がそれぞれ作成したものを秋田県埋蔵文化財センター赤星純平が編集した。
- 3 本報告書に掲載した地図は、国土地理院発行の1/25,000地形図、1/50,000地形図ならびに国土交通省・秋田県建設部が作成した平面図を複製した。(承認番号 平26情複、第908号)なお、第3章第1節の地形図には方位記号を付けていないが、全て上が世界測地系平面直角座標第X系座標北を示している。

25,000分の1地形図

「浅舞(14頁)平成15年5月1日」、「新波(10頁)平成19年1月1日」、「扇田(31頁)平成14年5月1日」、「大曲(11頁)平成12年9月1日」、「小安温泉(9・25頁)平成14年6月1日」、「角間川(13頁)平成12年11月1日」、「刈和野(11・18頁)平成19年8月1日」、「毛馬内(14・16頁)平成11年4月1日」、「小坂(16頁)平成15年1月1日」、「小坂鉱山(16頁)平成7年10月1日」、「十文字(14頁)平成12年8月1日」、「鷹巣西部(6・7頁)平成10年7月18日」、「鷹巣東部(9頁)平成14年5月1日」、「中流(16頁)平成26年1月1日」、「羽川(6・15頁)平成18年12月1日」、「早口(8頁)平成15年5月1日」、「横手(13・15頁)平成13年2月1日」、「陸中瀞川(16頁)昭和62年6月30日」、「悪戸野(7頁)平成19年2月1日」

50,000分の1地形図

「角館(12頁)平成16年6月1日」、「六郷(12頁)平成15年6月1日」

目 次

序	
例言	ii
目次	iii
抄録	iv
第1章 はじめに	1
第2章 実施要項	1
第1節 遺跡分布調査	1
第2節 遺跡確認調査	4
第3章 調査の記録	6
第1節 遺跡分布調査	6
1 平成25年度補足分	6
(1) 主要地方道大館能代空港西線建設事業	6
(2) 主要地方道川添下浜停車場線建設事業	6
(3) 主要地方道神岡南外東由利線建設事業	7
2 平成26年度分	7
(1) 二ツ井今泉道路改築事業	7
(2) 米代川鷹巣地区掘削事業	8
(3) 鷹巣大館道路建設事業	9
(4) 成瀬ダム建設事業	9
(5) 雄物川中流部河川改修工事(新波地区)	10
(6) 雄物川上流河川改修事業(西板戸・中村芦沢・寺館大巻・北野目地区)	11
(7) 田沢二期農業水利事業	12
(8) 横手西部農業水利事業	13
(9) 主要地方道十二所花輪大湯線建設事業	14
(10) 主要地方道大曲横手線建設事業	14
(11) 主要地方道川添下浜停車場線建設事業	15
(12) 草地畜産基盤整備事業(草地整備型)公共牧場整備事業鹿角東部地区	16
(13) 小坂精錬鉱山跡地環境改善工事(覆土植栽工事)用土採取事業	16
第2節 遺跡確認調査	17
1 雄物川上流河川改修事業(寺館大巻地区)	17
窪遺跡	17
2 成瀬ダム建設事業	24
トクラ遺跡	24
3 大館工業団地造成事業	30
片貝遺跡	30

報告書抄録

ふりがな	いせきしょうさいぶんぶちょうさほうこくしょ							
書名	遺跡詳細分布調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	秋田県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第497集							
編著者名	赤星純平(編)							
編集機関	秋田県埋蔵文化財センター							
所在地	〒014-0802 秋田県大仙市弘田字牛嶋20番地 TEL 0187-69-3331							
発行機関	秋田県教育委員会							
発行年月日	西暦2015年3月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 〃〃	東経 〃〃	調査期間	調査 面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
窪遺跡	秋田県大仙市 大巻字瀬ノ上 81外	05212	212-46-54	39° 56' 05"	140° 32' 19"	20140421) 20140425	982㎡ (確認調査 対象面積 13,500㎡)	雄物川上流 河川改修事業 (寺館大巻地区)
トクラ遺跡	秋田県雄勝郡 東成瀬村椿川字 トクラ4-1	05464	464-68-25	39° 03' 82"	140° 73' 18"	20140929) 20141010	693㎡ (確認調査 対象面積 4,800㎡)	成瀬ダム建設 事業
片貝遺跡	秋田県大館市 比内町達子字 中台31-1外	05204	204-12-27	40° 22' 38"	140° 55' 84"	20141006) 20141113	3,350㎡ (確認調査 対象面積 32,700㎡)	大館工業団地 造成事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
窪遺跡	貯蔵地又は墓地	縄文時代	土坑1基		縄文土器			
トクラ遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴建物跡2棟、土坑7基、 焼土遺構2基、溝跡1条、 柱穴様ビット2基		縄文土器、石器			
片貝遺跡	狩猟場 集落跡	縄文時代 平安時代	縄文時代:陥し穴状遺構14基 平安時代:竪穴建物跡22棟 時代不詳:土坑28基、焼土遺 構10基、溝跡34条、柱穴様 ビット100基		縄文土器、石器、土 師器、須恵器			
要約	平成26年度は、16件の詳細分布調査と3件の遺跡確認調査を行った。その結果、窪遺跡、トクラ遺跡、片貝遺跡については本調査が必要と判断し、開発事業との調整を図った。							

第1章 はじめに

国庫補助を得て実施した遺跡詳細分布調査のうち、平成26年1月～3月に実施した平成25年度の補足分は、主要地方道川添下浜停車場線建設事業等に係る試掘調査3件である。平成26年4月～12月には、国土交通省を事業者とする二ツ井今泉道路改築事業、雄物川中流部河川改修工事(新波地区)、成瀬ダム建設事業等、農林水産省関連の田沢二期農業水利事業、横手西部農業水利事業、秋田県建設部による主要地方道建設事業等、秋田県産業労働部による大館工業団地造成事業等に係る踏査・試掘調査13件と、雄物川上流河川改修事業(寺館大巻地区)、成瀬ダム建設事業等に係る遺跡確認調査3件を実施した。これらの調査はすでに策定してある調査要項に基づいて、秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室職員、秋田県埋蔵文化財センター職員が、地元教育委員会の協力を得て実施したものである。

第2章 実施要項

第1節 遺跡分布調査

1 調査の目的

開発予定地内を踏査・試掘して遺跡の有無を確認し、遺跡の保護策を講ずる。

2 調査の方法

- (1) 計画地域の範囲内で遺物の表面採集および試掘調査を実施して遺跡の所在を確認するとともに、遺跡の性格についても把握する。
- (2) 確認された遺跡は地図に記入する。
- (3) 遺跡の状況、遠景を写真撮影し、遺跡の概要も記録する。

3 事業主体者

秋田県教育委員会

4 調査担当者

秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室	主任学芸主事	磯村 亨
	副主幹	宇田川浩一
	文化財主査	加藤 朋夏
	文化財主任	新海 和広
	文化財主事	高橋 和成

※調査に当たっては以下の各教育委員会の方々に御協力いただいた。

鹿角市教育委員会	黒沢 健明	鹿角市教育委員会	赤坂 朋美
鹿角市教育委員会	工藤 海	大館市教育委員会	嶋影 壮憲
北秋田市教育委員会	榎本 剛治	能代市教育委員会	播摩 芳紀
秋田市教育委員会	眞井田宏彰	大仙市教育委員会	齊藤 浩志
横手市教育委員会	島田 祐悦	小坂町教育委員会	安田 隼人
東成瀬村教育委員会	古谷 政弘		

5 調査対象地域及び事業名

※平成25年度補足分(平成26年1月～3月)

No	事業者	事業名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
1	建設部	主要地方道大館能代空港西線建設事業	北秋田市	3月17日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
2	建設部	主要地方道川添下浜停車場線建設事業	秋田市	3月31日	試掘	事業地内で周知の遺跡1か所(河童長根遺跡)を確認した。
3	建設部	主要地方道神岡南外東由利線建設事業	大仙市	3月24日	試掘	事業地内で周知の遺跡1か所(大巻館跡)を確認した。

※平成26年度分(平成26年4月～12月)

No	事業者	事業名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
1	国土交通省	二ツ井今泉道路改築事業	能代市	6月19日 11月20日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
2	国土交通省	米代川農業地区掘削事業	大館市 北秋田市	11月12日	踏査	来年度以降対応必要。
3	国土交通省	鷹巣大館道路建設事業	北秋田市	10月15日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
4	国土交通省	成瀬ダム建設事業	東成瀬村	10月24日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
5	国土交通省	雄物川中流部河川改修工事(新波地区)	秋田市	10月15～17日 11月10・11日	踏査・ 試掘	事業地内で新たな遺跡1か所(新波遺跡)を発見し、周知の遺跡3か所(大巻1遺跡・大巻2遺跡・清水木遺跡)を確認した。
6	国土交通省	雄物川上流河川改修事業(西板戸・中村戸沢・寺廻大巻・北野日地区)	大仙市	6月26日 7月30・31日 10月9日	踏査・ 試掘	事業地内で周知の遺跡1か所(窪遺跡)を確認した。
7	農林水産省	田沢二期農業水利事業	大仙市	5月22日	踏査	事業地内で周知の遺跡4か所(十六沢城跡・旭田遺跡・お金塚遺跡・上の台遺跡)を確認した。
8	農林水産省	横手西部農業水利事業	大仙市 横手市	5月14日	踏査	事業地内で周知の遺跡4か所(般若寺遺跡・清水町新田堤下遺跡・大塚端遺跡・十文字遺跡)を確認した。
9	建設部	主要地方道十二所花輪大湯線建設事業	鹿角市	5月13・26日	踏査・ 試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
10	建設部	主要地方道大曲横手線建設事業	大仙市 横手市	10月19日 12月3日	踏査・ 試掘	事業地内で周知の遺跡1か所(桑里別跡)を確認した。
11	建設部	主要地方道川添下浜停車場線建設事業	秋田市	6月27日、8月26日 10月30日 11月18・19・26日	踏査・ 試掘	事業地内で周知の遺跡1か所(河童長根遺跡)を確認した。
12	農林水産省	草地畜産基盤整備事業(草地整備型)公共牧場整備事業鹿角東部地区	鹿角市	7月9日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
13	小坂町 調査協力	小坂精錬鉱山跡地環境改善工事(覆土植栽工事)用土採取事業	小坂町	11月17・18日	踏査・ 試掘	事業地内で周知の遺跡2か所(小坂館跡・下大谷地遺跡)を確認した。来年度以降、町教育委員会による対応必要。

※平成26年度工事立会（平成26年4月～12月）

No	事業者	事業名	事業地	立会期間	立会結果	備考
1	国土交通省	商人留交差点改良事業	大館市	8月4日	遺構・遺物は確認できなかった。	狼穴IV遺跡
2	国土交通省	鷹巣大館道路建設事業	北秋田市	10月14日	縄文土器を採集した。	藤株遺跡
3	国土交通省	成瀬ダム建設事業	東成瀬村	9月3日	遺構・遺物は確認できなかった。	トクラ遺跡
4	国土交通省	成瀬ダム建設事業	東成瀬村	6月25日 9月30日	遺構・遺物は確認できなかった。	白岩小沢遺跡
5	農林水産省	田沢二期農業水利事業	大仙市	10月14日 12月5日	遺構・遺物は確認できなかった。	お金塚遺跡 上の台遺跡
6	建設部	主要地方道秋田八郎潟線 建設事業	八郎潟町	10月24日	遺構・遺物は確認できなかった。	貝保遺跡
7	建設部	主要地方道大曲横手線 建設事業	横手市	10月16日	遺構・遺物は確認できなかった。	条里別跡
8	建設部	都市計画街路事業 千秋広面線	秋田市	6月9日 7月4日 10月30日	遺構・遺物は確認できなかった。	久保田城跡

第2節 遺跡確認調査

1 調査の目的

開発事業計画に係る遺跡の広がり、埋没の度合い、時代とその性格を知るために当該地域での遺物の表面採集及び小規模の発掘調査（遺構確認面までの掘り下げ）を行い、当該埋蔵文化財の保護と保存を図る。

2 調査の方法

- (1) 地形を考慮したトレンチ及び試掘坑を設定して行う。また、遺構等が確認された場合、できる限り面的に調査範囲を広げてその確認に努める。
- (2) 確認された遺構・遺物、遺物包含層、堆積土の厚さ等は、実測図等により記録する。また、遺跡の全景と調査状況、遺構・遺物の確認状況等は写真撮影する。
- (3) 使用する地形図は開発部局で作成した最大縮尺の図面とする。

3 事業主体者

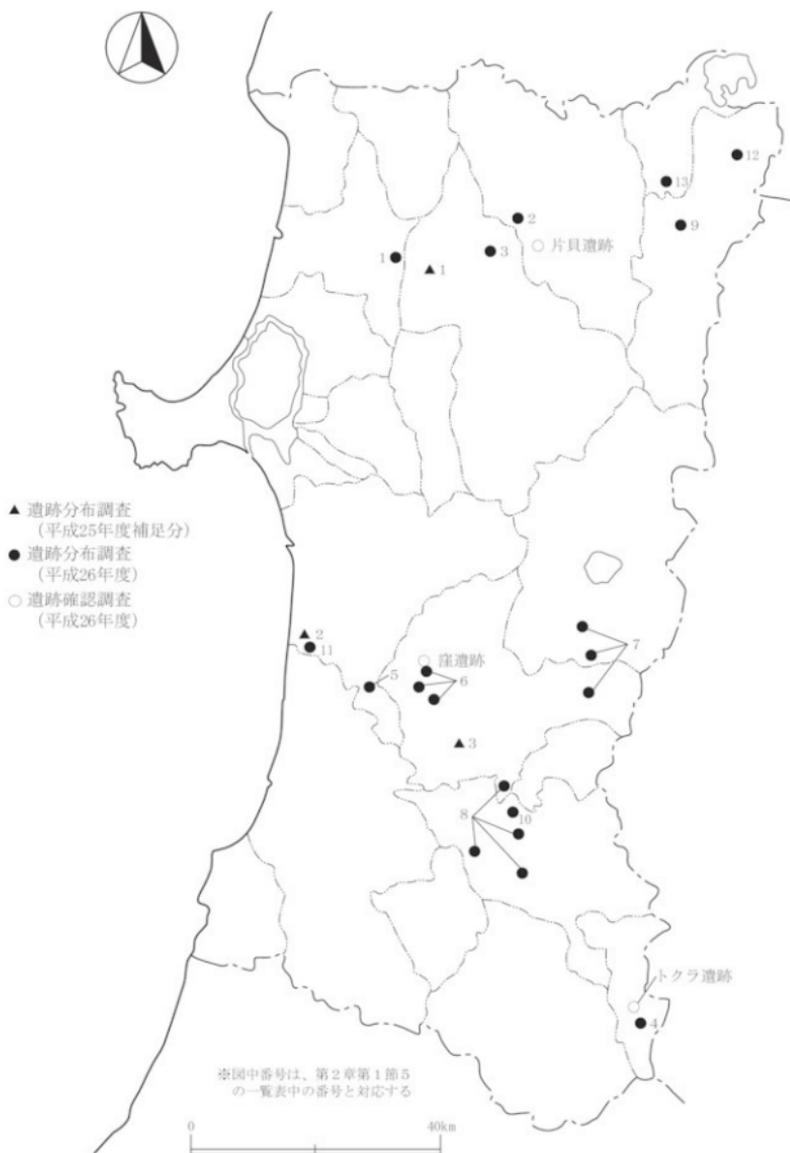
秋田県教育委員会

4 調査担当者

秋田県埋蔵文化財センター 主任学芸主事 谷地 薫
学芸主事 佐藤 淳 築瀬 圭二 袴田 道郎
文化財主事 伊豆 俊祐 赤星 純平 富樫 那美

5 調査対象遺跡及び事業名

No.	事業名	遺跡名(所在地)	調査期間	調査担当者
1	雄物川上流河川改修事業 (寺館大巻地区)	窟遺跡(大仙市)	平成26年4月21日 ～4月25日	谷地・佐藤
2	成瀬ダム建設事業	トクラ遺跡(東成瀬村)	平成26年9月29日 ～10月10日	伊豆・赤星・富樫
3	大館工業団地造成事業	片貝遺跡(大館市)	平成26年10月6日 ～11月13日	谷地・築瀬・袴田



第1図 遺跡分布調査・遺跡確認調査地点図

第3章 調査の記録

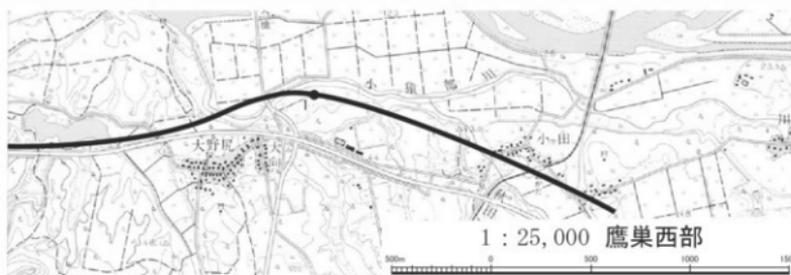
第1節 遺跡分布調査

1 平成25年度補足分

(1) 主要地方道大館能代空港西線建設事業

事業予定地のうち、中心杭No.167～174の水田地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	北秋田市坊沢三ツ屋袋下悪戸	..	水田	なし	



第2図 主要地方道大館能代空港西線建設事業 遺跡分布調査位置図

(2) 主要地方道川添下浜停車場線建設事業

事業予定地のうち、中心杭No.19～28について試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所(河童長根遺跡)を確認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	河童長根遺跡	秋田市下浜羽川字河童長根	縄文	山林	土器・石器	周知の遺跡



第3図 主要地方道川添下浜停車場線建設事業 遺跡分布調査位置図

(3) 主要地方道神岡南外東由利線建設事業

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所が事業に係ることを確認した。この遺跡については、掘削が地山まで及び遺構・遺物ともに確認できなかったことから、慎重工事での対応とした。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	大巻館跡	大仙市南外金屋	・・	山林・荒蕪地	なし	



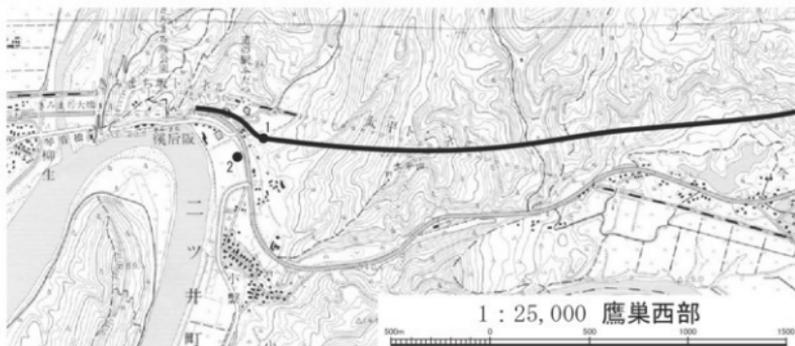
第4図 主要地方道神岡南外東由利線建設事業 遺跡分布調査位置図

2 平成26年度分

(1) ニツ井今泉道路改築事業

事業予定地のうち、ニツ井地区の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	・・・・	能代市ニツ井町小繋恋の沢	・・	山林	なし	
2	・・・・	能代市ニツ井町小繋泉	・・	水田	なし	

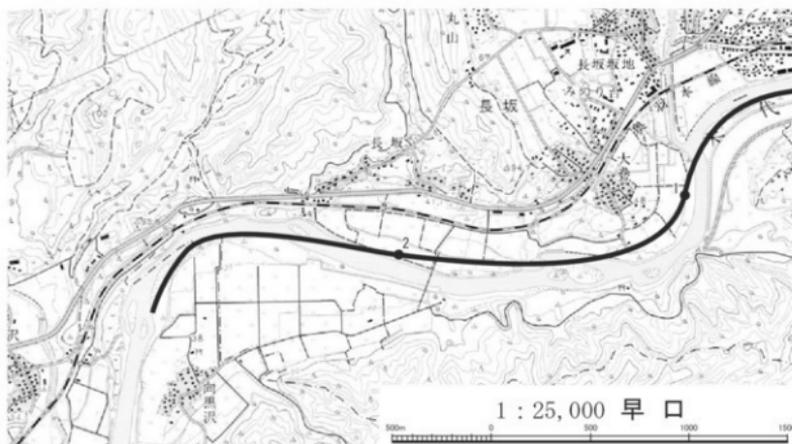


第5図 ニツ井今泉道路改築事業 遺跡分布調査位置図

(2) 米代川氾濫地区掘削事業

事業予定地の踏査を実施した。周知の遺跡に重ならないことを確認したが、試掘調査が必要な箇所を2か所選定した。来年度以降、事業の進捗状況に合わせて対応する必要がある。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	大館市長坂大巻屋敷	..	水田	なし	
2	大館市長坂上大谷地	..	水田	なし	



第6図 米代川氾濫地区掘削事業 遺跡分布調査位置図

(3) 鷹巣大館道路建設事業

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	北秋田市栄中小又出口	..	山林	なし	

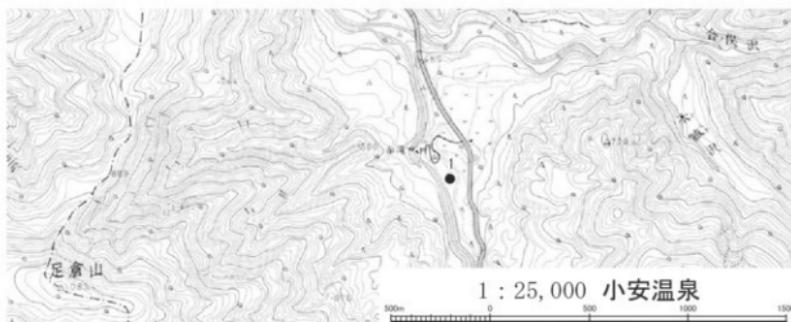


第7図 鷹巣大館道路建設事業 遺跡分布調査位置図

(4) 成瀬ダム建設事業

事業予定地のうち、赤川沿いの1か所について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後も事業の進捗状況に合わせて試掘等の対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	東成瀬村椿川字トクラ	..	山林	なし	



第8図 成瀬ダム建設事業 遺跡分布調査位置図

(5) 雄物川中流部河川改修工事(新波地区)

事業予定地のうち、中心杭No12～39・50～90の区間について現地踏査及び試掘調査を実施した。調査の結果、新発見の遺跡1か所、周知の遺跡3か所を確認した。清水木遺跡の工事計画範囲内については、削平により失われており、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後も事業の進捗状況に合わせて試掘等の対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	・・・・	秋田市雄和繁	・・	水田	なし	
2	・・・・	秋田市雄和新波	・・	水田	なし	
3	新波遺跡	秋田市雄和新波	平安	水田	土師器・須恵器	新発見の遺跡
4	大巻Ⅰ・Ⅱ遺跡	秋田市雄和新波	縄文・平安	水田	縄文土器・須恵器	周知の遺跡
5	清水木遺跡	秋田市雄和清水木	縄文・平安	畑	なし	周知の遺跡



第9図 雄物川中流部河川改修工事(新波地区) 遺跡分布調査位置図

(6) 雄物川上流河川改修事業(西板戸・中村芦沢・寺館大巻・北野目地区)

事業予定地のうち、中村芦沢地区は中心杭No.1～5の区間について、西板戸地区は雄物川と横岡川の合流点付近の1か所について試掘調査を、北野目地区では踏査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、窪遺跡についても今回調査した範囲は埋蔵文化財対応が生じないと判断した。中村芦沢・西板戸の2地区については、試掘調査対応終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	大仙市南外西板戸	..	荒地	なし	
2	大仙市協和峰吉川	..	水田	なし	
3	窪遺跡	大仙市大巻字窪	縄文	林	なし	周知の遺跡
4	大仙市北野目	..	荒地	なし	

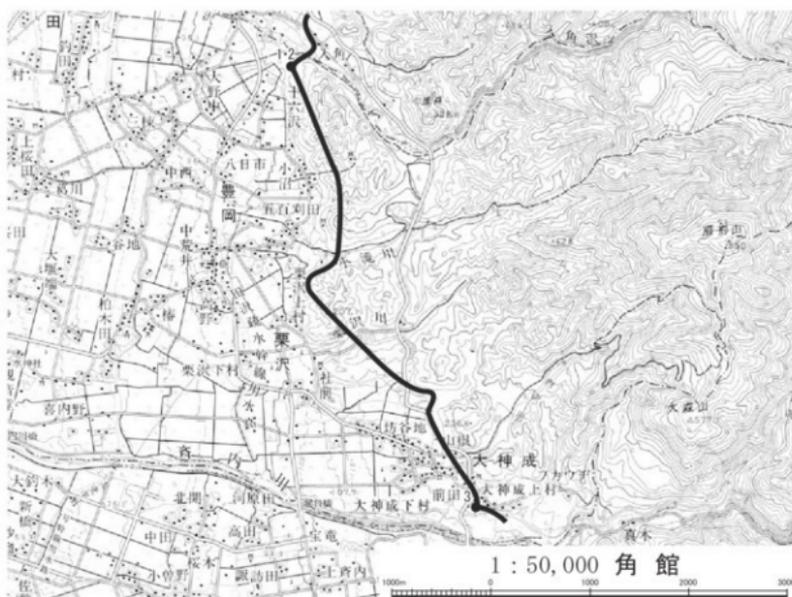


第10図 雄物川上流河川改修事業(西板戸・中村芦沢・寺館大巻・北野目地区) 遺跡分布調査位置図

(7) 田沢二期農業水利事業

事業予定地のうち、第二田沢幹線用水路に係る範囲の踏査を実施した。踏査の結果、周知の遺跡4か所が工事区域にかかることを確認した。今後も事業の進捗状況に合わせて試掘等の対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	十六沢城跡	大仙市豊岡十六沢	中世	山林	なし	周知の遺跡
2	旭田遺跡	大仙市豊岡十六沢	縄文	山林	なし	周知の遺跡
3	お金塚遺跡	大仙市大神成上村	縄文	山林	なし	周知の遺跡
4	上の台遺跡	大仙市太田町永代字上の山	中世	山林	なし	周知の遺跡

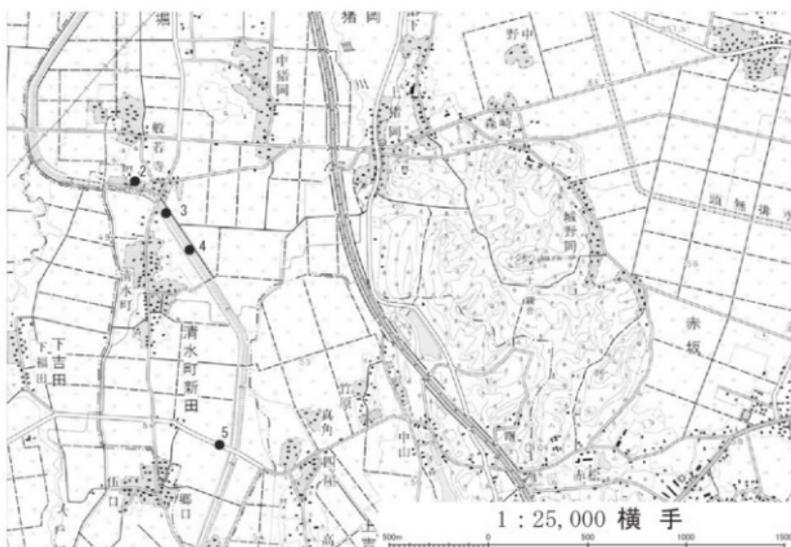


第11図 田沢二期農業水利事業 遺跡分布調査位置図

(8) 横手西部農業水利事業

事業予定地のうち、吉田幹線排水路・皆瀬1号幹線用水路・油川幹線排水路・五郎兵衛排水路のうち今年度対象となる範囲を踏査した。踏査の結果、吉田幹線排水路で周知の遺跡4か所がかかることを確認したが、工法等を踏まえ協議した結果、慎重工事による対応が妥当と判断した。今後も事業の進捗状況に合わせて踏査が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	・・・・	大仙市角間川町	・・	水路	なし	
2	般若寺遺跡	横手市塚堀字般若寺	・・	水路	なし	周知の遺跡
3	清水町新田堤下遺跡	横手市清水町新田字堤下	・・	水路	なし	周知の遺跡
4	大堰端遺跡	横手市清水町新田字大堰端	・・	水路	なし	周知の遺跡
5	十文字遺跡	横手市清水町字十文字	・・	水路	なし	周知の遺跡
6	・・・・	横手市平鹿町醍醐	・・	水路	なし	
7	・・・・	横手市雄物川町深井	・・	水路	なし	



第12図 横手西部農業水利事業 遺跡分布調査位置図(1)

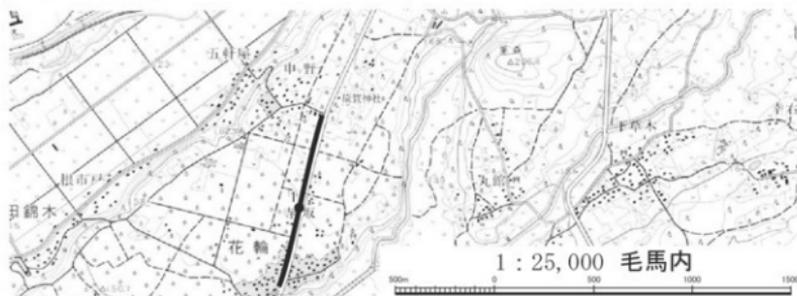


第13図 横手西部農業水利事業 遺跡分布調査位置図(2)

(9) 主要地方道十二所花輪大湯線建設事業

事業予定地について現地踏査及び試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	鹿角市花輪字寺坂	..	畑地	なし	

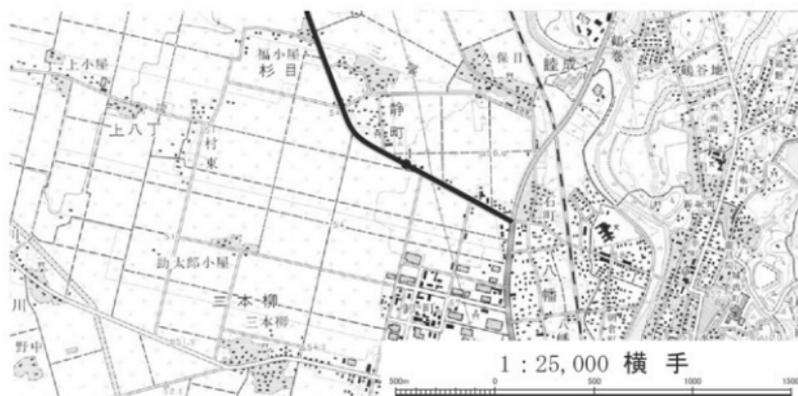


第14図 主要地方道十二所花輪大湯線建設事業 遺跡分布調査位置図

(10) 主要地方道大曲横手線建設事業

事業予定地について現地踏査及び試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所が事業に係ることを確認した。この遺跡については、掘削が地山まで及び遺構・遺物ともに確認できなかったことから、慎重工事での対応とした。今後の事業の進捗に合わせて試掘等が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	条里制跡	横手市静町長田	奈良・平安	水田・荒蕪地	なし	周知の遺跡



第15図 主要地方道大曲横手線建設事業 遺跡分布調査位置図

(11) 主要地方道川添下浜停車場線建設事業

事業予定地の現地踏査、試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所（河童長根遺跡）を確認した。今後、事業の進捗に合わせて確認調査等の対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	河童長根遺跡	秋田市下浜羽川字河童長根	縄文・古代	畑地・山林	縄文土器・石器 土師器・鉄滓	周知の遺跡
2	秋田市下浜羽川字鶴形	..	水田	なし	
3	秋田市下浜羽川字内稲場	..	畑地・山林	なし	
4	秋田市下浜羽川字浜稲場	..	山林	なし	

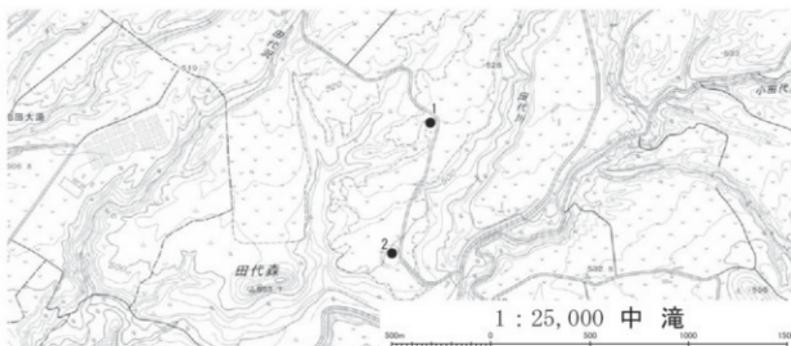


第16図 主要地方道川添下浜停車場線建設事業 遺跡分布調査位置図

(12) 草地畜産基盤整備事業(草地整備型)公共牧場整備事業鹿角東部地区

事業予定地のうち、1牧区・3牧区の対象地で試掘を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後も事業の進捗状況に合わせて試掘等の対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	鹿角市十和田大湯	..	牧草地	なし	
2	鹿角市十和田大湯	..	牧草地	なし	



第17図 草地畜産基盤整備事業(草地整備型)公共牧場整備事業鹿角東部地区 遺跡分布調査位置図

(13) 小坂精錬鉱山跡地環境改善工事(覆土植栽工事)用土採取事業

事業予定地について踏査・試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡2か所(小坂館跡・下大谷地遺跡)を確認した。今後の事業の進捗に合わせて、町教育委員会による対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	小坂館跡	鹿角郡小坂町小坂鉱山	中世	山林	土塁	周知の遺跡
2	下大谷地遺跡	鹿角郡小坂町小坂鉱山	縄文	山林	縄文土器・石器	周知の遺跡



第18図 小坂精錬鉱山跡地環境改善工事(覆土植栽工事)用土採取事業 遺跡分布調査位置図

第2節 遺跡確認調査

1 雄物川上流河川改修事業（寺館大巻地区）

窪遺跡

1 遺跡所在地	秋田県大仙市大巻字瀬ノ上81外
2 確認調査期間	平成26年4月21日～4月25日
3 確認調査対象面積	13,500㎡
4 工事区域内遺跡面積	13,800㎡
5 工事区域内要本発掘調査面積	16㎡
6 遺跡の立地と現況	

a 立地

遺跡はJR奥羽本線刈和野駅の北西約4.5kmに位置する。横手盆地を蛇行して北流する雄物川は、遺跡付近で流路を北西から南西に変え、左岸には北に張り出す舌状の河岸段丘が形成されている。遺跡はこの河岸段丘の西縁部付近に立地する。標高は17～18mである。

b 現況

調査対象範囲の大部分は水田であったが、用地買収後は耕作されており荒蕪地となっている。調査対象範囲の西側に隣接する段丘西縁部に杉林があり、立木が伐採されずに残っている。この部分は周囲にくらべて標高が1m近く高い微高地となっており、開田前の旧地表面が残る。

7 確認調査の方法

調査対象範囲内に幅1.8m、長さ任意のトレンチを計21か所設定した。重機による掘削の後、トレンチ底面及び壁面の精査を行い、遺構・遺物の有無、堆積土を観察した。調査の記録は、検出遺構と出土遺物の位置を示す平面図及び簡易土層図作成と、デジタル写真撮影によって行った。実質調査面積は982㎡で、確認調査対象面積の約7%に相当する。

8 確認調査の結果

a 層序

遺跡の基本層序は、次のとおりである。

第Ⅰ層 黒褐色(10YR2/3)シルト 層厚5～20cm 耕作土

第Ⅱ層 暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)～褐色(10YR4/4)粘土質シルト 層厚10～45cm 客土

第Ⅲ層 暗褐色(10YR3/4)細砂質シルト 層厚10～50cm

第Ⅳ層 黒褐色(10YR2/3)粘土質シルト 層厚10～30cm

第Ⅴ層 褐色(10YR4/4)シルト質粘土 層厚10～30cm 地山漸移層

第Ⅵ層 黄褐色(10YR5/6)シルト質粘土 層厚110cm以上 地山

調査対象範囲付近の埋没地形には起伏がある。調査対象範囲の西側は旧地表面の標高が高く、水田造成によって第Ⅵ層まで削平されている。一方、東側は第Ⅲ層以下が残存し、特に南北に通る農道付近には浅い埋没谷があり、グライ化した粘土が厚く堆積している。

b 検出遺構と出土遺物

第2トレンチ北東部で直径約80cmの円形土坑を検出した。この周辺は地山まで削平されており、遺

構の下部のみが残存している。

遺物は、第9トレンチ北東部と第10トレンチ北端部の第IV層から、摩滅した縄文土器片が出土した。その中には、RL単節斜縄文が横回転で施文されているものもある。明確ではないが、縄文時代後期～晩期の粗製深鉢破片の可能性はある。

9 所見

a 遺跡の種類

検出した土坑は、調査対象範囲西側の段丘縁辺微高地に隣接する。当該微高地上面については、今回の確認調査後に実施された分布調査において遺構・遺物が確認されなかった。このことから本遺跡は、微高地南東側の緩斜面に分布する土坑群から成る縄文時代後期～晩期の貯蔵域もしくは墓域であったと推測される。遺物が出土した調査対象範囲中央部付近は、この土坑分布の東縁部に当たると予想される。

b 遺跡の範囲と工事区域

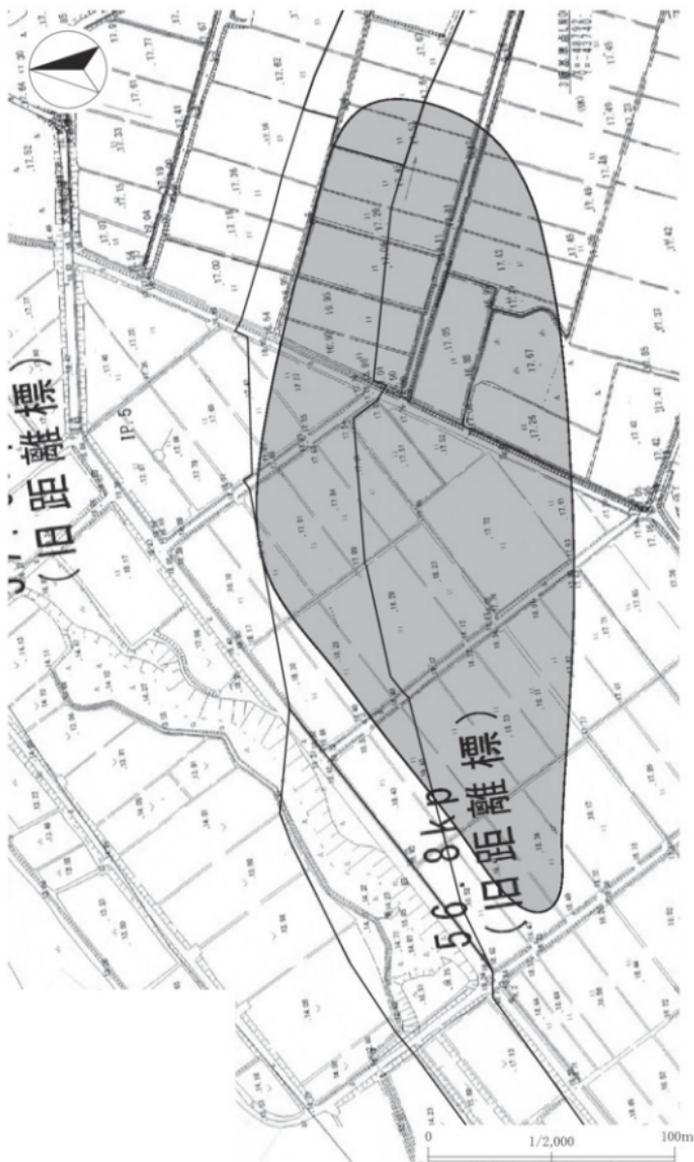
遺跡は、微高地南東側緩斜面周辺に広がっていた可能性があるが、現水田造成時に大半が削平されたものと考えられる。本発掘調査対象範囲は、今回確認した土坑とその周辺地域に限定される。

c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

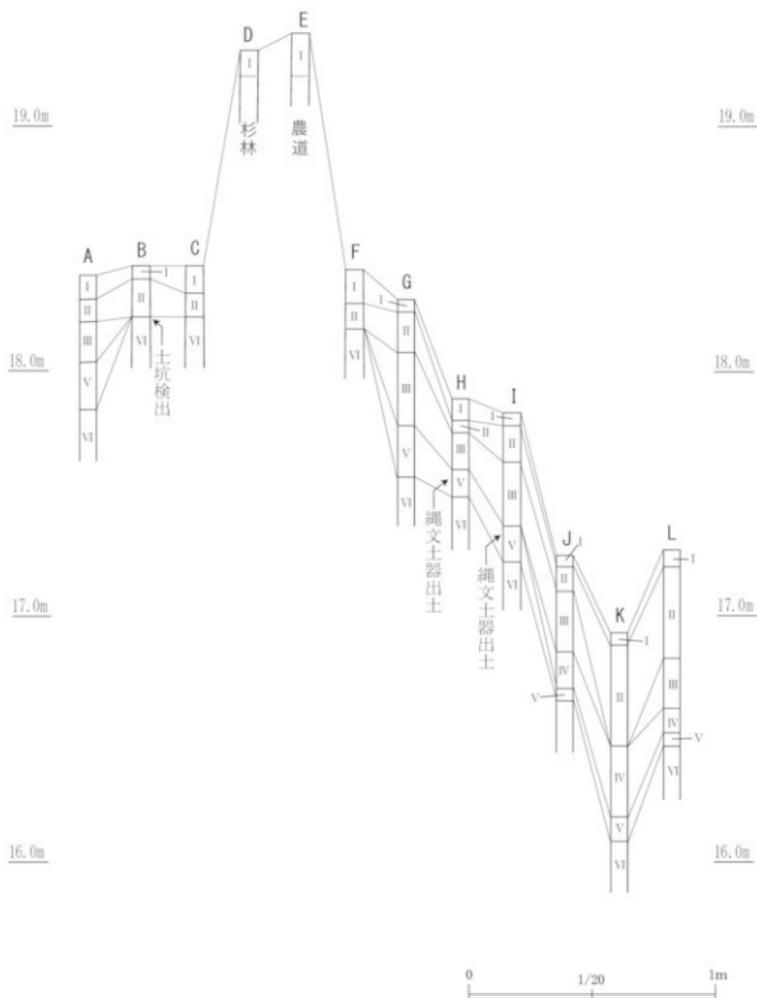
遺構は土坑が少数、遺物は縄文土器が少量検出されると予想される。



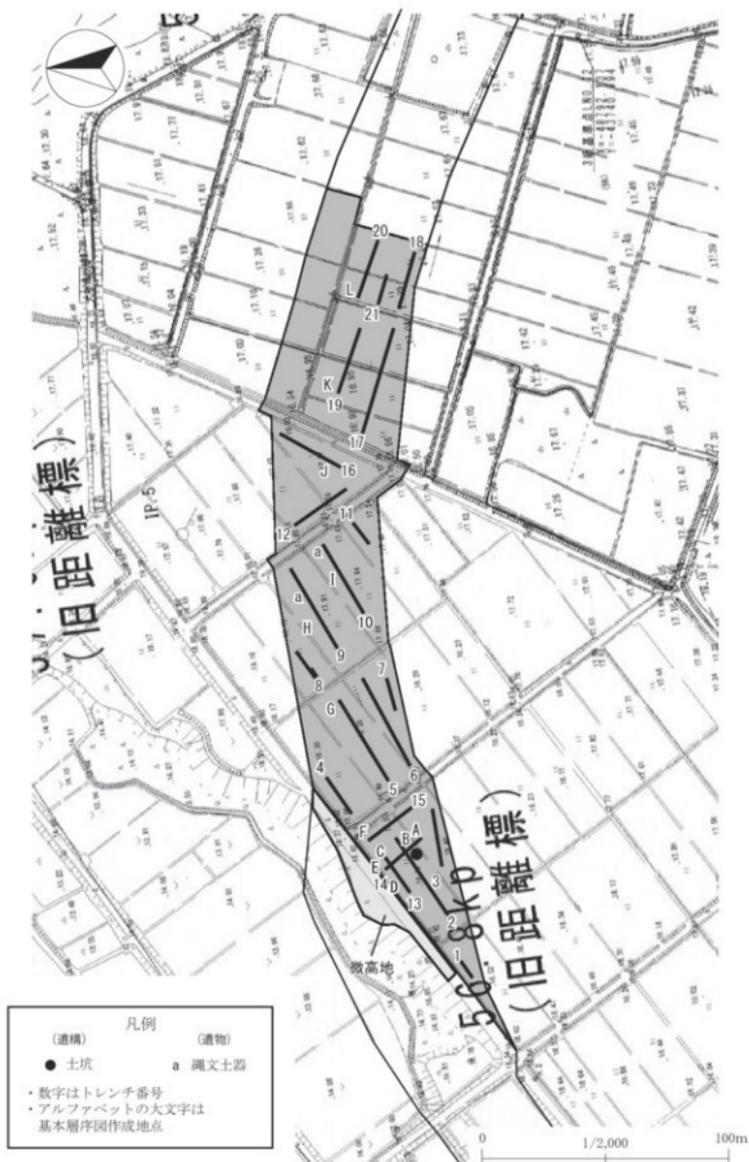
第19図 窪遺跡位置図



第20図 舊遺跡推定範圍図



第21図 窪遺跡基本層序図



第22図 窪遺跡確認調査結果図



第23図 窪遺跡要本発掘調査範囲図



遺跡近景
(南西から)



第2トレンチ
土層断面
(東から)



第2トレンチ
土坑検出状況
(北東から)

2 成瀬ダム建設事業

トクラ遺跡

1 遺跡所在地	秋田県雄勝郡東成瀬村椿川字トクラ4-1
2 確認調査期間	平成26年9月29日～10月10日
3 確認調査対象面積	4,800㎡
4 工事区域内遺跡面積	23,500㎡
5 工事区域内要本発掘調査面積	東側4,000㎡（今年度700㎡、昨年度3,300㎡） 西側未確定（今年度680㎡、昨年度320㎡の計1,000㎡は確定）

6 遺跡の立地と現況

a 立地

遺跡は成瀬川支流の北ノ俣沢右岸にある南向きの段丘状の平坦面に立地する。平坦面は段丘面の様相を呈するが、地滑りによって形成された地形の可能性も考えられる。同面は高位・中位・低位の3面からなり、このうち上位の2面が遺跡の範囲と推定される。今回調査を行った高位面の標高は480mほどで、北端側は崖雑性と推測される垂角礫が堆積し一段高くなっている。西～南西側には中・低位の平坦面が続き、南東は崖となっている。

b 現況

遺跡推定範囲の中心部は、過去に杉林が伐採され工事用ヤードとして盛土造成されていたが、今年度の確認調査時にはおおむね盛土は除去されていた。北端側には林道及び橋脚工事用道路が横断する。東・南側縁辺部には雑木が繁茂し、西側縁辺部は杉林となっている。調査範囲の地形は、おおむね北東から南西に向かって下る緩斜面である。

7 確認調査の方法

調査は昨年度に続けて幅約2mのトレンチを第9トレンチから第16トレンチまでの計8本設定し、重機で掘り下げた。その後、人力でトレンチ壁面・底面を精査し、遺構・遺物の有無を確認した。調査の記録は、検出遺構の位置を示す平面図及び簡易土層図の作成と写真記録を行い、遺物は出土位置を記録して取り上げた。実質調査面積は693㎡で、確認調査対象面積の14%に相当する。

8 確認調査の結果

a 層序

遺跡の基本層序は、次のとおりである。

- 第Ⅰ層 黒色(10YR1.7/1)シルト 締まり弱 粘性弱 層厚4～20cm 腐葉土主体の現表土
- 第Ⅱ層 黒褐色(10YR3/2)シルト 締まり中 粘性弱 層厚2～11cm
- 第Ⅲ層 黄褐色(10YR5/6)混礫シルト 締まり中 粘性やや弱 部分的にφ10～20cm程度の垂角礫を含む
- 第Ⅲ'層 ぶい黄橙色(10YR5/4)混礫シルト 締まりやや強 粘性弱 沢地部分で確認することができる
- 第Ⅳ層 礫層 φ10～20cm程度の垂角礫を主体とする 礫の間には黄褐色シルトが混じる 遺物は第Ⅱ層下部から第Ⅲ層上部にかけて包含されている。遺構は第Ⅲ層上面で確認した。

b 検出遺構と出土遺物

遺構は竪穴建物跡2棟、土坑7基、焼土遺構2基、溝跡1条、柱穴様ビット2基を検出した。これらは今回の調査対象範囲の南西部に集中している。第9トレンチ西端の土坑からは縄文時代前期の土器が、第10トレンチ西側の土坑では後期の土器が出土しており、これらの遺構はそれぞれ縄文時代前期及び後期に属する可能性が高い。竪穴建物跡は、遺構検出面で縄文時代前期・後期の土器が出土した。後期の土器が主体を占めているため、竪穴建物跡の帰属時期は縄文時代後期の可能性がある。

遺物は縄文土器、剥片石器、礫石器が出土した。縄文土器は中コンテナ1箱分が出土し、時期は前期・後期に属するものが中心である。剥片石器・礫石器は合わせて中コンテナ3箱分が出土している。剥片石器は剥片・砕片が多量に出土し、残核も4点確認されている。製品は石槍・石鏃・石鏃・石匙・削器等が出土している。礫石器には磨石がある。

9 所見

a 遺跡の種類

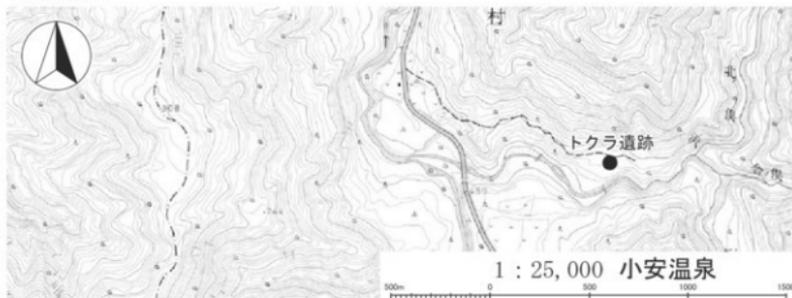
昨年度調査範囲では東側で縄文時代早期～前期と推定される土坑等が確認されており、今年度調査範囲においては南西側で縄文時代後期の可能性がある竪穴建物跡や縄文時代前期・後期と推定される土坑等が確認されていることから、地点を異にして営まれた縄文時代早期～前期・後期の集落跡と考えられる。

b 遺跡の範囲と工事区域

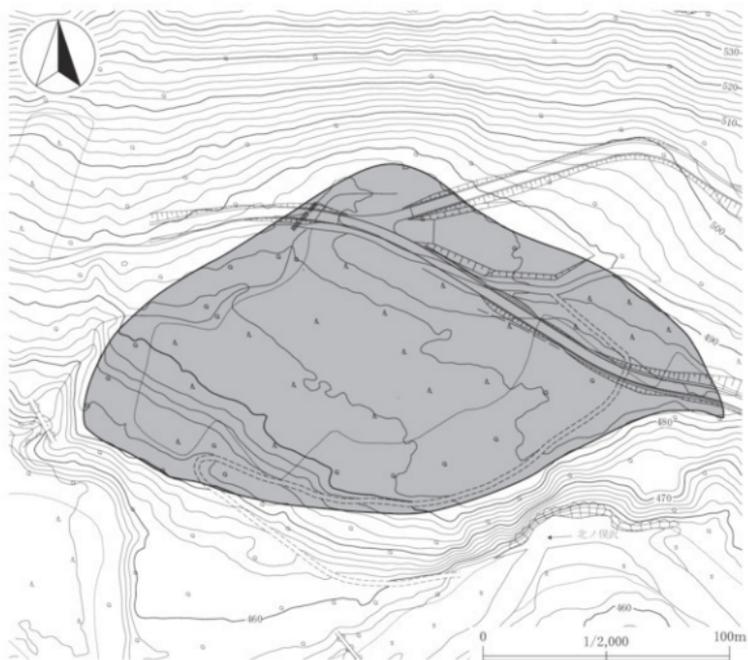
遺跡の高位平坦面の中央部分は遺構・遺物が確認できなかったため、要本発掘調査範囲から除いた。遺構・遺物は高位平坦面の東西の縁辺部でまとまって見つかっており、現時点で本発掘調査が必要とされる範囲は、昨年度調査範囲を含め、高位平坦面の東側4,000㎡と西側1,000㎡である。東側ではより高位の北端部について追加確認調査を実施し、遺構・遺物が広がるか確認する必要がある。西側では、遺跡南西側の未確認調査部分に遺構・遺物が広がることが想定されるため、当該地点に追加確認調査を実施し、要本発掘調査範囲を確定する必要がある。

c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

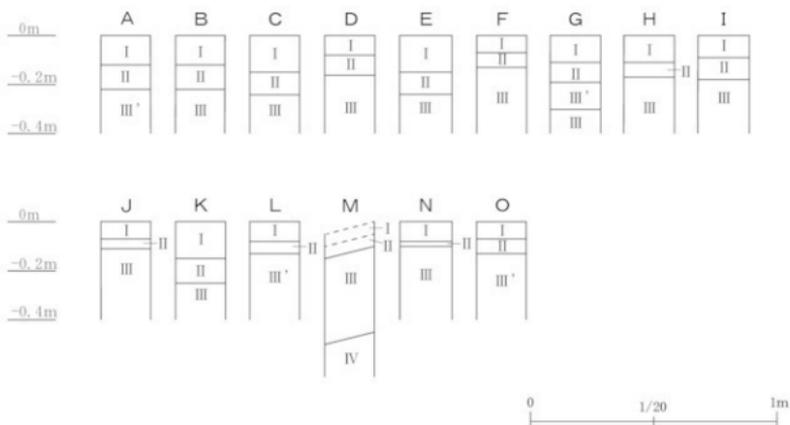
高位平坦面の東側では、昨年度の確認調査結果から縄文時代早期～前期の土坑、集石遺構、石器製作跡等が分布することが予想される。遺物は、縄文時代早期～前期・後期の土器、石器が出土すると予想される。



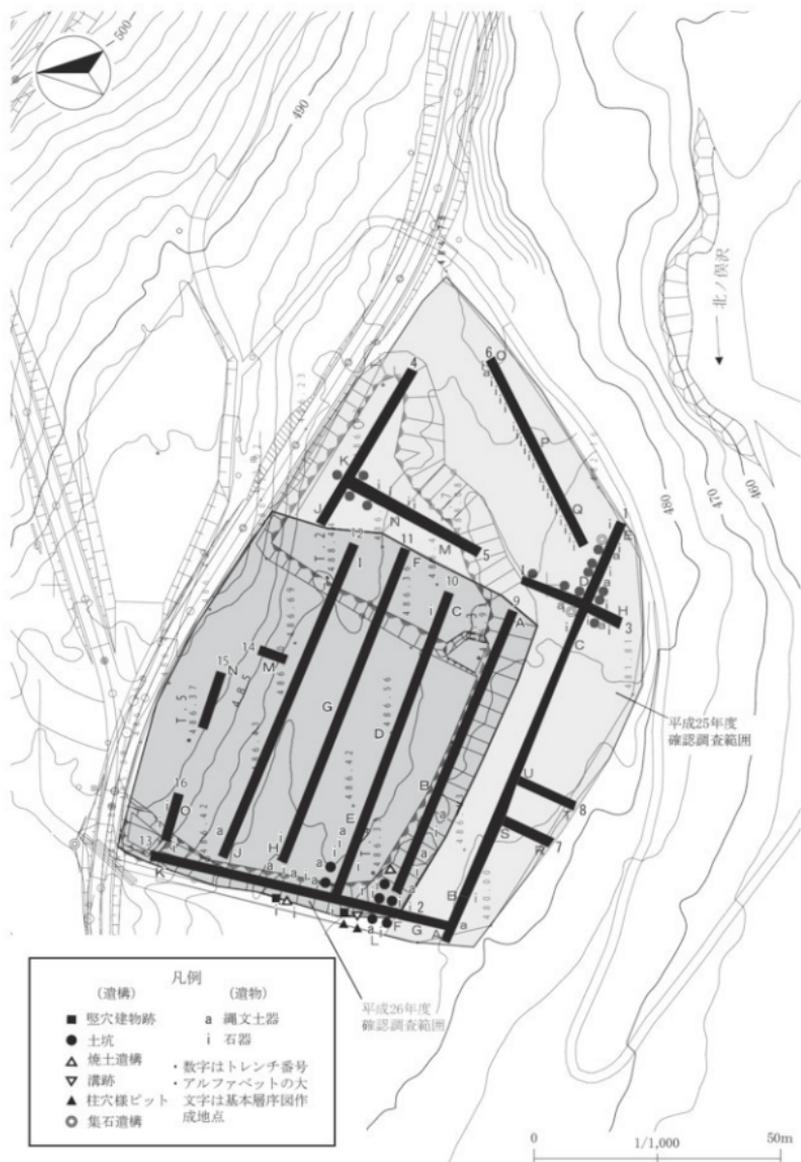
第24図 トクラ遺跡位置図



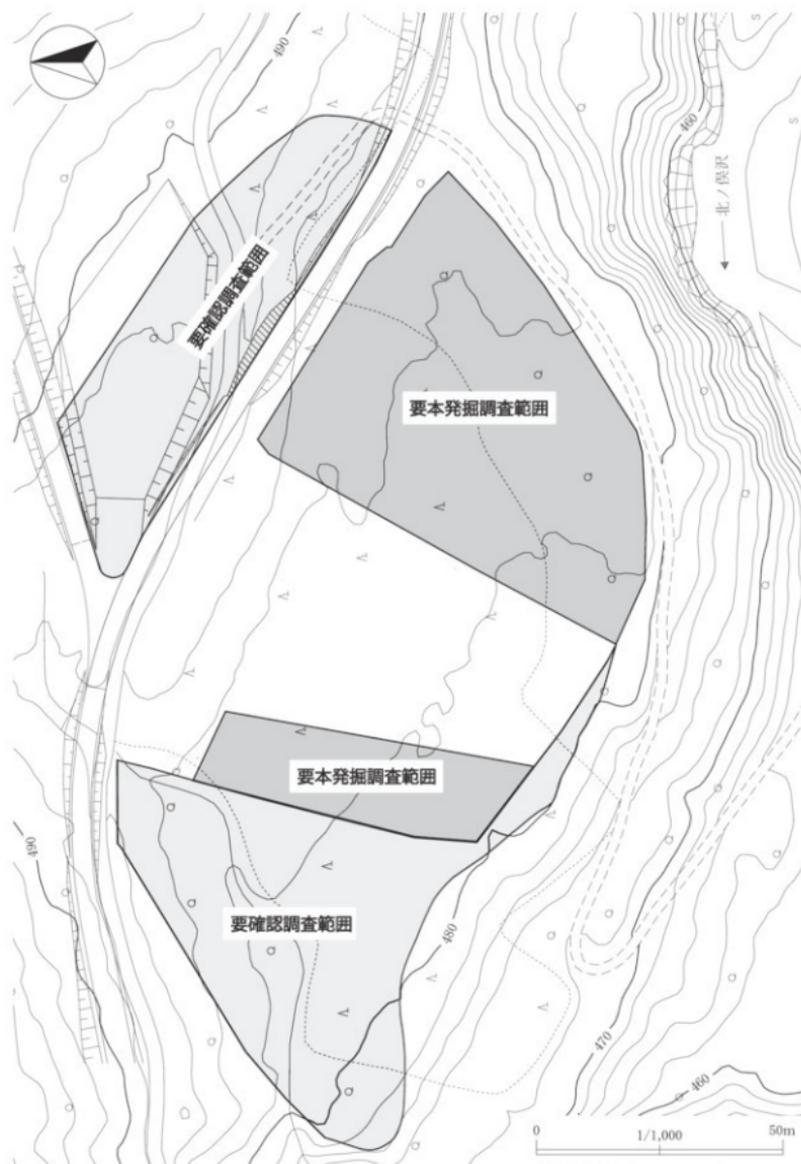
第25図 トクラ遺跡推定範囲図



第26図 トクラ遺跡基本層序図



第27図 トクラ遺跡確認調査結果図



第27図 トクラ遺跡要本発掘調査範囲図



遺跡近景
(南東から)



第9トレンチ西端
土坑（縄文時代前期）
検出状況
(南から)



第10トレンチ西側土坑
縄文土器出土状況
(縄文時代後期)
(南から)

3 大館工業団地造成事業

片貝遺跡

1 遺跡所在地	秋田県大館市比内町達子字中台31-1 外
2 確認調査期間	平成26年10月6日～11月13日
3 確認調査対象面積	32,700㎡
4 工事区域内遺跡面積	32,700㎡
5 工事区域内要本発掘調査面積	27,100㎡
6 遺跡の立地と現況	
a 立地	

遺跡は、JR花輪線扇田駅の南西約1.5kmに位置し、標高207mの達子森に続く標高約68mの台地の北側に立地する。この台地は、北側で北西に流れる犀川左岸と南側で北西に流れる引欠川の右岸との間に位置し、沖積地との比高は約10mである。調査対象区の北西側隣接地には工業団地がある。

b 現況

調査対象範囲は、北側が畑地、南側が杉を中心とする林地で、畑地を取り巻く台地の縁にも雑木林がある。一部の畑地は現在も作付けされ、農業資材や物置小屋が点在する。畑地にある立木以外は未伐採である。畑地と山林の境には農道が通る。

7 確認調査の方法

調査は、畑地においては、幅2mのトレンチを既存の工事境界線に沿って障害物(耕作中の畑地や立木、物置小屋等)を避けながら20m間隔で方眼状に設定した。林地においては、密集する立木を避けて直線になるように幅1mのトレンチを設定した。畑地は重機で、林地は人力と重機でトレンチを掘削し、遺構・遺物の有無を確認した。確認調査における実質調査面積は3,350㎡で、確認調査対象面積の10.2%に相当する。

8 確認調査の結果

a 層序

遺跡の基本層序は、次のとおりである。

- 第Ⅰ層 黒褐色(10YR2/2)シルト 締まり中 粘性弱 層厚10～30cm 表土・耕作土
- 第Ⅱ層 黒色(10YR2/1)～黒褐色(10YR2/2)シルト 締まり中 粘性弱 火山灰含有 層厚5～40cm 遺物包含層
- 第Ⅲ層 黒色(10YR2/1)シルト 締まり中 粘性弱 層厚5～40cm 遺物包含層
- 第Ⅳ層 ぶい黄褐色(10YR5/4)～灰黄褐色(10YR5/2)シルト 締まり中 粘性中 層厚0～20cm 地山漸移層
- 第Ⅴ層 黄褐色(10YR5/6)～ぶい黄褐色(10YR5/4)粘質土 地山

遺跡内の基本層序は大別すると4層である。第Ⅰ層は耕作土。調査区北側と北東側の畑地の一部では、耕作により地山まで攪乱されている。第Ⅱ層と第Ⅲ層は共に黒ボク土の遺物包含層で、第Ⅱ層は西暦915年の十和田噴火で噴出した十和田aと推定される火山灰を含むことから火山灰降下後の、第Ⅲ層は火山灰降下前の堆積層である。遺構は、第Ⅲ層上位と第Ⅴ層地山直上の二面で確認できる。

b 検出遺構と出土遺物

調査区東～西側斜面を除く調査対象範囲の大部分で遺構・遺物を検出した。検出遺構には縄文時代の陥し穴状遺構14基、平安時代の竪穴建物跡22棟、時代不詳の焼土遺構、土坑などがある。陥し穴状遺構の規模は、東西方向の長軸が4～5m、幅が0.3～0.5m、深さが地上面から0.7～1mである。竪穴建物跡の規模は、一辺が4～5mの方形である。第17トレンチで確認した竪穴建物跡は第Ⅲ層上面から掘り込まれ、埋土に火山灰を含有しないことから、平安時代以前に構築された可能性もある。

このほか畑地のトレンチでは、竪穴建物跡の壁溝と考えられる痕跡も多く検出された。火山灰降下後の竪穴建物跡は、台地の縁辺で多く見つかっている。土坑は平面形が直径1m、深さが0.6m前後のものをほぼ全域で検出した。調査区西側の台地縁辺部では長軸1m、短軸0.6mほどの楕円形の土坑群がほぼ長軸方向を揃えて分布している。焼土遺構は第Ⅴ層直上で検出した。遺物は、第Ⅱ層・第Ⅲ層と遺構内埋土から土師器の坏や甕の破片が出土している。調査対象範囲から除外した斜面からは、剥片石器と土師器片が出土したが、台地上から流出したものと考えられる。

9 所見

a 遺跡の種類

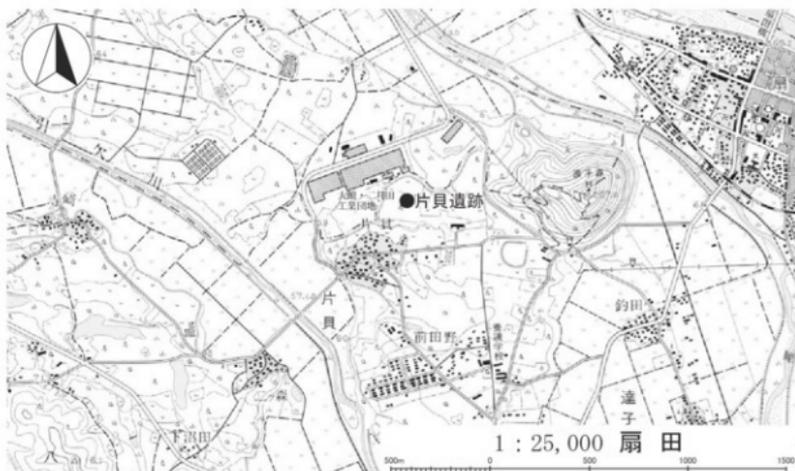
検出遺構と出土遺物から、縄文時代の狩猟場と平安時代の集落跡と推定される。

b 遺跡の範囲と工事区域

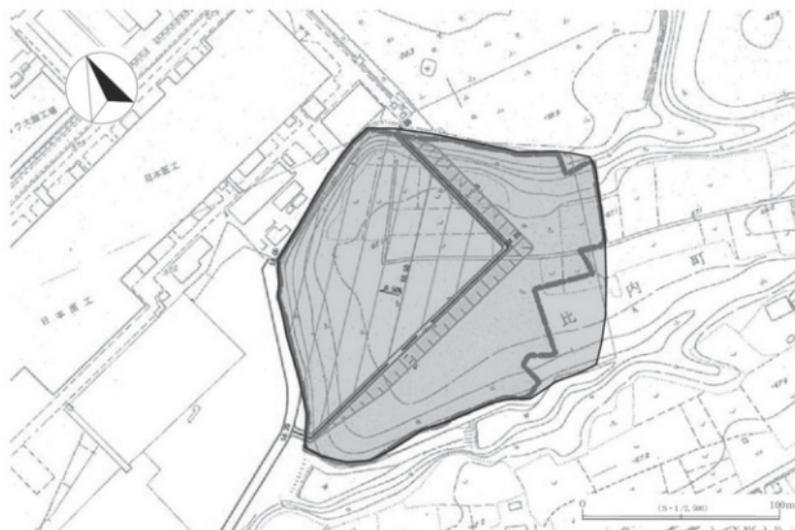
遺跡の広がり、周囲の水田や宅地面よりも高い平坦な台地上のほぼ全域にわたると考えられる。発掘調査必要範囲は、東～西側斜面を除く27,100m²である。

c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

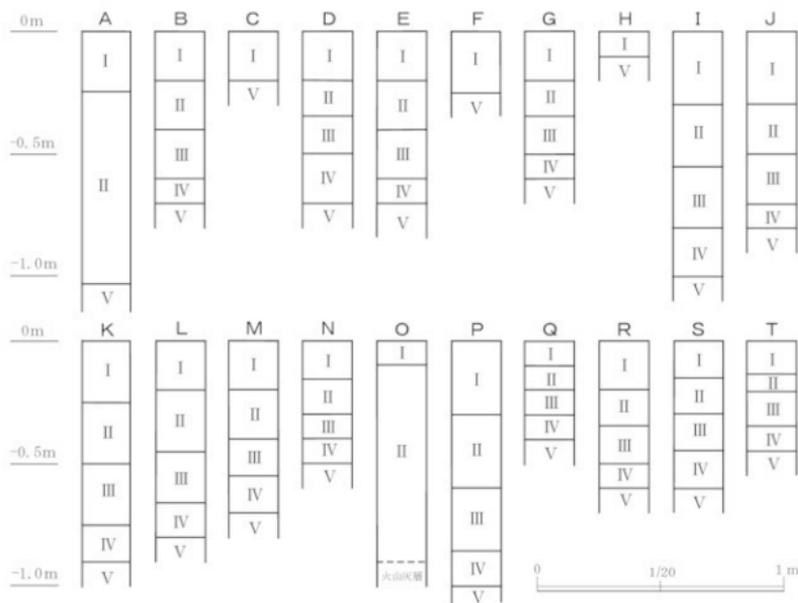
遺構は縄文時代の陥し穴状遺構、平安時代の竪穴建物跡、土坑、焼土遺構、溝跡等が検出されると予想される。遺物は縄文土器、石器、土師器、須恵器が中コンテナで100箱程度出土すると予想される。



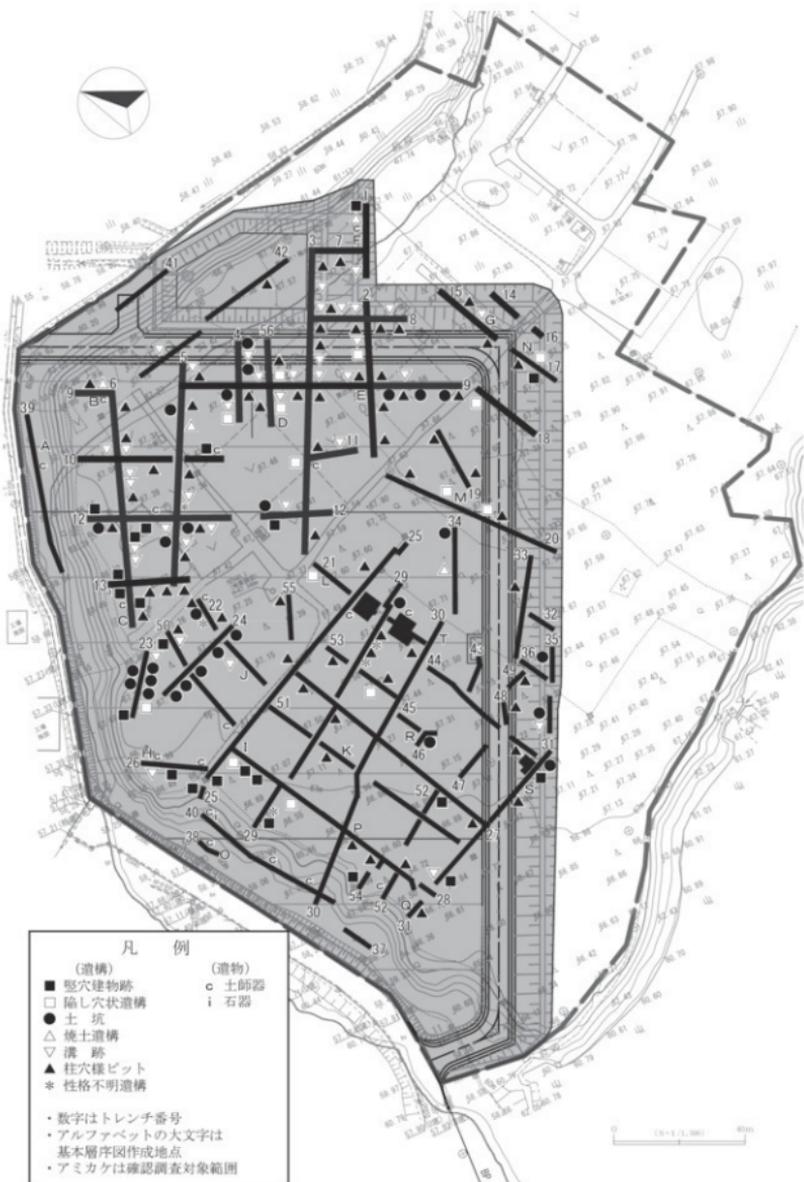
第29図 片貝遺跡位置図



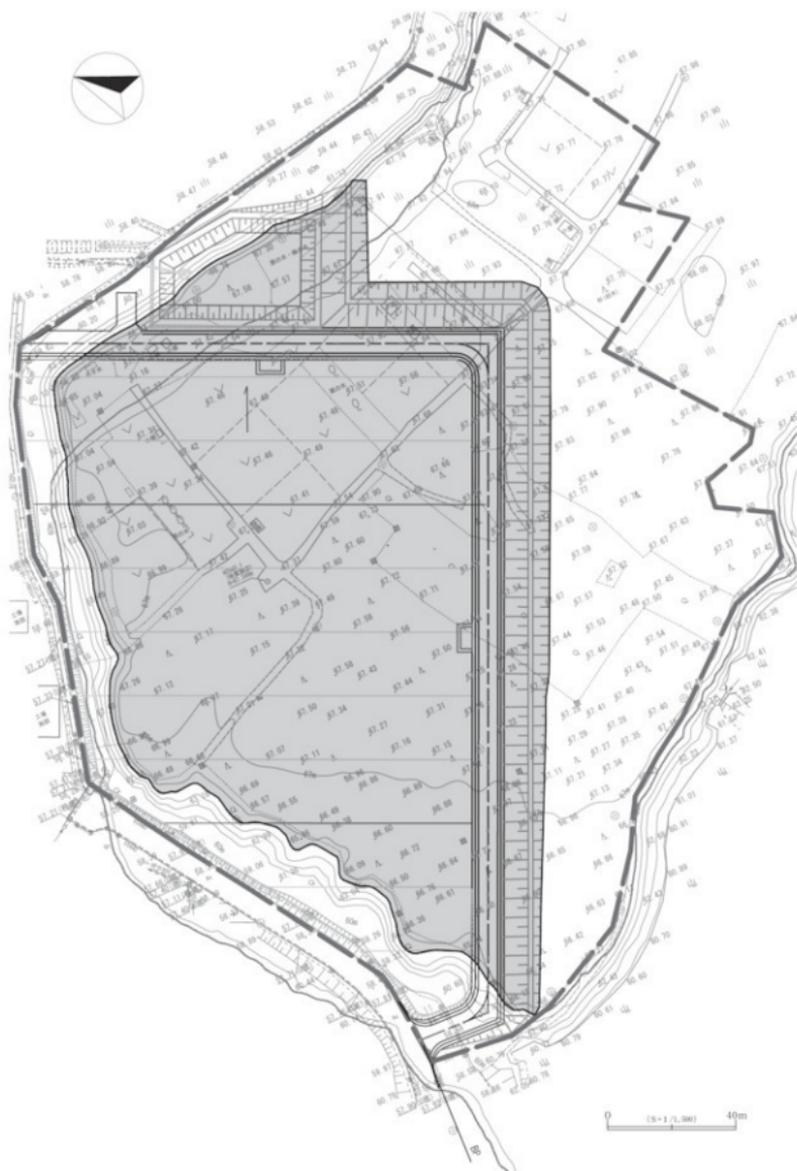
第30図 片貝遺跡推定範囲図



第31図 片貝遺跡基本層序図



第32図 片貝遺跡確認調査結果図



第33図 片貝遺跡要本発掘調査範囲図



遺跡遠景
(北から)



第2トレンチ
陥し穴状遺構検出状況
(東から)



第17トレンチ
竪穴建物跡・陥し穴状
遺構検出状況
(南東から)

秋田県文化財調査報告書第497集
遺跡詳細分布調査報告書

印刷・発行 平成27年3月

編 集 秋田県埋蔵文化財センター
〒014-0802 秋田県大仙市弘田字牛嶋20番地
電話 (0187)69-3331
FAX (0187)69-3330

発 行 秋田県教育委員会
〒010-8580 秋田市山王三丁目1番1号
電話 (018)860-5193

